

## 推薦調書（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	広島県
地方公共団体名	福山市		
取組名称	びんごデジタルラボを中心とした中小企業のデジタル化支援		
連携自治体、企業、団体等			
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野） 中小企業
	<p><b>【デジタルを活用した取組の全体概要】</b></p> <p>備後圏域連携中枢都市圏（広島県三原市・尾道市・福山市・府中市・世羅町・神石高原町、岡山県笠岡市・井原市。以下「備後圏域」という。）の中小企業を対象に、デジタル化の取組状況に応じた支援を行う。</p> <p>企業のデジタル化の取組状況に応じた支援として、</p> <p><b>A「関心がない」企業</b>には、備後圏域内企業の取組を中心とした成功事例を発信する「びんごデジタルラボ」で、意識の醸成を図る。</p> <p><b>B「何から取り組んでよいか分からない」企業</b>には、初歩的な疑問に答える窓口「びんごICT相談所」で導入に関する疑問点に対応する。</p> <p><b>C「取り組むための人材が居ない」企業</b>には、首都圏等のデジタル人材と交流する「ふくやまビジネスキャンプ」での人材確保や、新たに実施する「びんごデジタルラボ」の実践型のセミナーで人材育成を支援する。</p> <p>また、デジタル化が促進された企業の、</p> <p><b>D「新しい価値を生み出す事業への挑戦」</b>については、本市がコロナ前から取り組んでいる「実証実験まるごとサポート事業」で実証場所の提供などを支援することで、新しい製品やサービスの創出につなげる。</p> <p>これらの一体的な取組を通じて企業のデジタル化の成功事例を創出し、関心がない企業への啓発につなげる。</p> <p><b>【実施に至る経緯・動機】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、デジタル化が社会課題となる中、本市は「誰もが、デジタル化の恩恵を享受できる都市 ふくやま」を目指し、産業・地域・行政の3分野のデジタル化実行計画を策定し、デジタル化を推進している。</p> <p>こうした中、産業の分野において、リソース不足によりデジタル化が困難になりがちな中小企業の取組を阻む壁を1つずつ排除し、新たな価値を生む挑戦につなげるための好循環をつくりたい思いで事業の連携に取り組む。</p> <p><b>【解決する課題の具体的内容】</b></p> <p>A「関心がない」企業には、デジタル化の啓発により取組を促す（びんごデジタルラボ）</p>		

	<p>B「何から取り組んでよいか分からない」企業には、相談窓口の設置による取組方法の提案や企業の現地での導入などの伴走支援（びんごICT相談所）</p> <p>C「取り組むための人材が居ない」企業には、短期的にはマッチングによる人材確保、中長期的にはセミナー等による人材育成（ふくやまビジネスキャンプ及びびんごデジタルラボ）</p> <p>D「新しい価値を生み出す事業への挑戦」については、実証実験フィールドの提供などによる先端技術や新たなビジネスモデルの創出支援（実証実験まるごとサポート事業）</p>												
デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	<p>○ アウトプット指標</p> <table border="0"> <tr> <td>・ びんごデジタルラボ</td> <td>参加企業数</td> <td>2021年度</td> <td>:164社</td> </tr> <tr> <td>・ びんごICT相談所</td> <td>相談件数</td> <td>2021年度</td> <td>:36件</td> </tr> <tr> <td>・ 実証実験まるごとサポート事業</td> <td>支援件数</td> <td>2018～2021年度</td> <td>:15件</td> </tr> </table>	・ びんごデジタルラボ	参加企業数	2021年度	:164社	・ びんごICT相談所	相談件数	2021年度	:36件	・ 実証実験まるごとサポート事業	支援件数	2018～2021年度	:15件
・ びんごデジタルラボ	参加企業数	2021年度	:164社										
・ びんごICT相談所	相談件数	2021年度	:36件										
・ 実証実験まるごとサポート事業	支援件数	2018～2021年度	:15件										
本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	<p>○ 成功事例の発信や企業同士が交流するびんごデジタルラボを中心に、複数の事業が連携してデジタル化の企業相談や伴走支援、人材確保と育成などを一体的に支援することで、持続的な取組になるようにしている。</p> <p>○ 国や県、市の企業向け補助事業を活用できるよう、相談や社内の人材育成を支援することで、有効な支援につなげる。</p> <p>○ 支援によって生まれた事例をモデルとして、地域の他企業の啓発に活用することで、地元でデジタル化の好循環が生まれる仕組みを目指している。</p> <p>○ 2022年6月に立上げ予定のデジタル化推進会議において、産業支援団体等から、現場の意見を聞く中で事業を推進し、必要に応じて改善する。</p>												
今後の展望	<p>○ 2021年度から本格的に稼働した「びんごデジタルラボ」に、2022年度から実践的なセミナーによる人材育成機能を拡充</p> <p>○ 「びんごICT相談所」の相談窓口から、企業を現地訪問する伴走支援の機能を2022年度に追加予定</p> <p>○ コロナ以前、市外企業からの実証実験を受け入れていた「実証実験まるごとサポート事業」を、デジタル化に取り組む企業とのマッチングにつなげ、デジタル化の推進から新しい価値を生む産業づくりにつなげる。</p>												

「中小企業のデジタル化支援のステップと対応事業」概要図

デジタル化への 取組状況	必要な支援	事業	
関心がない	デジタル化の啓発	<b>びんごデジタルラボ</b> 事例共有の場。成功事例を共有することで意識の醸成を図る。	
何から取り組んでよいか分からない	相談の場の設置		<b>びんごICT相談所</b> 企業の相談窓口。提案から現地での伴走支援まで行う。
取り組むための人材が居ない	人材確保の場の提供		<b>ふくやまビジネスキャンプ</b> デジタル人材と経営課題の解決策を構築する機会を提供する。
	人材育成の場の提供	セミナーや体験型イベントを実施し、デジタル人材の育成支援を行う。	
新しい価値を生み出す事業への挑戦	実証実験の支援	成功事例を共有し、関心がない企業への啓発につなげる。	<b>実証実験まるごとサポート事業</b> 先端技術を活用した実証実験に対して総合的な支援を行う。